

シニア型・介護予防公園づくりについて

福島 千恵子 議員 (公)

町長 順次健康遊具を取り入れていく



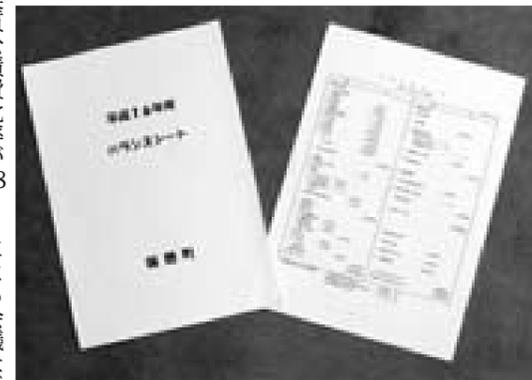
松原中央公園に設置されている背伸ばしベンチ

質問 国交省の調査で、健康遊具の設置は3年前に比べ32・9%増と、高い増加率を示している。特に千代田区では都の介護予防推進モデル地区に指定され、西神田公園などに、背伸ばしベンチなど8種類の健康遊具を設置し、「介護予防公園」としてスタートし好評である。

町長 すでに松原中央公園などには背伸ばしベンチを設置している。また、今年度は既存の公園に腰などのひねり運動ができる遊具の設置を予定している。今後、設置が有効と思われる公園から、健康遊具を順次取り入れていく方針である。

こんな質問もありました
歯科歯周疾患健康診査の実施を。
町長 町歯科医師会とも調整を図り、推進していきたい。

質問 町の行政サービスに對し、不足や不満を感じている住民も少なくないと思う。しかし、公共サービスはすべて税金であり、場合によっては子どもたちに借金を押しつけることにもなりかねない。町民の方々にまちづくりへの理解と協力を求める上からも、町の財政状況を分かりやすく示す必要があると考える。そこで、次の2点を町長に伺う。
問① 町の負債総額と実質公債費比率《解説》は。
町長 借金の総額は合計で約23・4億円。実質公債費比率は7・4%である。
問② 目標とする財政指標と経営戦略は。



町長 実質公債費比率が18%を超えると、国のコントリール下となる。このレベルを超えないことが財政目標。また、経営戦略については、現在、PFIや市場化テストなど新たな手法が開発されているが、そういったものを導入しなければ行政は対応しきれなくなる。今後、民間経営者と行政

による会議などが必要になると認識している。

三三解説
実質公債費比率
自治体の借金状況を測る新制度。一般会計以外にも、特別会計、一部事務組合などの借金も合算して算出する。

町の借金総額と今後の経営戦略を問う

町長 借金総額は23・4億円

森 亘 議員 (至)



元狭山工業地域の道路整備と土地利用の推進を問う

竹嶋 久雄 議員 (自公)



質問 瑞穂町は、南北を国道16号線、東西を新青梅街道が走り沿道地域は開発されている。昭和45年には区域指定がなされ、新しい町づくりを目指して区画整理事業が進められている。

元狭山工業地域を見ると、区画整理以外に約91ヘクタールが指定されている。一部を除き道路機能が果たされていない所もあり、土地利用に支障を与えている。これらの道路整備についてどのような施策で取り組んでいくのか町長の所見を伺う。
町長 元狭山工業地域の土地利用については、都市計画マスタープランにおける将来都市構造の中で、工業・



元狭山工業地域の未整備道路

流通ゾーンとして位置づけられている。この地域の町道は狭い上、未改修道路が多い。本来用途地域から見て大型車輛の運行が可能な道路ネットワークの形成が望まれる。

しかし地権者の理解と協力がなければ道路整備は進まない。今後は道路整備の手法を研究し、土地利用の促進を図りたいと考えている。

議会傍聴 にお越しく下さい。

12月定例会 (予定)

- 11月28日 (火) 議会運営委員会
- 12月 6日 (水) 本会議 (一般質問)
- 7日 (木) 本会議 (一般質問・議案審議)
- 8日 (金) 本会議 (議案審議)
- 11日 (月) 総務常任委員会
- 12日 (火) 産業建設常任委員会
- 13日 (水) 厚生文教常任委員会
- 15日 (金) 議会運営委員会
- 19日 (火) 本会議

12月定例会における請願、陳情の受付締め切り日は11月22日(水)になります。

お問い合わせ 議会事務局 TEL.557-7693 (直通)